

令和四年度、二度の学力調査が行われています。四月に実施された「全国学力・学習状況調査(六年生対象)」と十二月実施の「島根県学力調査(五・六年生対象)」です。四月の全国調査結果を受けて学校で分析・改善を図り、十二月の県調査で、その進み具合を見るというものです。学力調査については、その調査結果をもって全ての学力を押し量れるものではありませんが、今の時代に子ども達に求められている学力であることは間違いありません。結果については真摯に受け止め、子ども達の学力向上に生かしていかなければ

令和四年度学力調査結果から



すつかりと春めいてまいりました。令和四年度も残すところわずかばかり残された時間は短いですが、この一年の振り返りをしっかりと行わなければなりません。そして、その振り返りをもとに、令和五年度に向けた準備を怠りなくしなければならぬと考える今日この頃です。

原井の三則
 ☆場を清める
 ☆時間秩序を正す
 ☆人間関係を高める

第205号 令和5年
 3月15日(水)
 発行・原井小学校
 TEL.22-0863

	全国学力・学習状況調査結果				島根県学力調査結果							
	6年生				6年生				5年生			
	全国	島根県	浜田市	原井小	全国	島根県	浜田市	原井小	全国	島根県	浜田市	原井小
国語	65.6 (64.7)	64 (63)	60	61 (56)	74.5	68 (66.3)	65.6 (66.6)	66 (57)	72.7	68.4 (63.0)	65.5 (61.4)	73.9 (60.5)
算数	63.2 (70.2)	61 (67)	57	62 (60)	71.6	61.2 (66.1)	58.3 (66.4)	68.3 (65.3)	60	55.6 (58.9)	53.6 (55.6)	54.9 (64.1)
理科	63	62	57	59								

※ 数字は平均正答率、理科はR4全国調査のみ実施、()内は前年度数値

は次の通りでした。令和四年度の調査結果

調査結果を見ると、次の様なことが分かります。

六年生について
 ・前年度と今年度の島根県学力調査結果を比較すると、国語・算数ともに大きな伸び(国語+5.5、算数+4.2)が見られる。

・四月の全国調査と十二月の県調査を比べると、国語については島根県の伸びが+4点に対し原井小は+5点。算数については島根県の伸びが+0.2点に対し原井小は+6.3点。この一年間での算数の伸びが顕著であることが分かる。

・算数の正答率が高く、島根県の正答率を大きく上回っている。

五年生について
 ・国語の正答率が極めて高く、全国平均をも上回る。

・算数と国語の正答率を比べると大きな差があり、算数に課題があることが分かる。

今述べたことは、数字のみを比較したものであり、子ども達の学力全てを表すものではありません。しかしながら、全ての調査教科において、五・六年生ともに浜田市の正答率を上回ったことはいずれも思います。そして、六年生の算数や、五年生の国語に見られるような、得意とする教科があ



ることもよい傾向であると捉えることができます。

原井小学校は、五年前に学校教育重点目標を新たに決めました。そして、目標達成をめざす中で、学力向上を願う日々授業改善に取り組んできました。これまでの取組の方向性が間違っていないことが、学力調査の結果に表れたことをとてもうれしく思うところです。

スタインウェイ・ピアノコンサート

原井小学校では、三年前からスタインウェイ・ピアノコンサートを学校内の児童を対象に行っています。コロナ禍であったことがきっかけではありますが、年々参加者が増えてきていることをとてもうれしく思っています。今年、十四名十一学級有志の児童がチャレンジしました。

スタインウェイピアノが、原井小の宝物であるからこそ、多くの児童に触れてほしい、演奏してほしいと願っています。上手でなくてもよい、片手のみ演奏でもよい。ともかく名器と呼ばれるピアノに触れて、音楽に親しむきっかけになってくれればと考えるところです。

